

## Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>



去る2月23日、JBAは在ロサンゼルス総領事館と共催で「The JBA 56th Anniversary Reception」を開催した。JBAと交流を持つ政府機関や政治・経済団体等をゲストに迎え、JBA活動をアピールした。(詳細はp.2)

2

## 「The JBA 56th Anniversary Reception」報告

4-5

### JBA 特別経済セミナー

## 「米国経済の現状とトランプ政権下での経済展望」報告

3 「外務省主催2017年在米日系人リーダー (JALD) 訪日プログラム」壮行会ディナー報告

6-7 会員企業インタビュー「私のLAライフ」

8 異業種交流会(ミキサー)報告

9 新入会企業紹介

10-12 各部会からのお知らせ

# The JBA 56th Anniversary Receptionを開催

去る2月23日、在ロサンゼルス日本国総領事公邸で、The JBA 56th Anniversary Reception (JBA創立56周年記念祝賀会)を開催した。トランス市長のパトリック・ヒューレイ氏やWorld Trade Center Los Angelesプレジデントのステイブ・チャン氏ら各界の要人が出席するなど、JBA56周年を祝うにふさわしい華やかな会となった。



会の終盤に来賓一同で行った恒例の鏡開き

## 南カリフォルニアでの日本の貢献を周知していくべき年

毎年、JBA が良好な関係を維持する政府機関および政治・経済団体等を招いて JBA の活動を周知すると共に、JBA 会員企業に良い交流の場を提供する、という趣旨で行っている本レセプション。受付開始の5時30分を過ぎると、来賓および JBA 会員企業からの参加者が次々と来場し、さっそくあちらこちらで談笑の輪ができた。

午後6時になると、司会を務める商工部会の佐野吉弘さんが開会の挨拶を行った。そしてまず壇上に上がったのは、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事。「日本は南カリフォルニアにて8万人もの直接雇用と18万1000人もの間接雇用を生み出している。このことを皆さんにもぜひ、周りの方々に広めていただきたい」と、日系企業の同地での存在感をアピールした。

続いて、大川智 JBA 会長が登壇。「トランプ新大統領にもっと日系企業の南カリフォルニア経済での貢献を知ってもらわない」と強調した上で、「JBA はこれからも

ますます地域コミュニティとの関係を強化し、南カリフォルニアの成長と繁栄に貢献していきたい」と話した。

## 諸外国との貿易こそがアメリカの成長には重要

大川会長のスピーチ後には、JBA の歴史に加えて最近の主な活動を紹介するビデオを来場者に向けて上映した。そして、それに続いてトランス市長のパトリック・ヒューレイ氏がスピーチ。「新たな大統領が誕生したことで我々が抱える課題は多いが、カリフォルニアはアメリカの他のどの州とも違う。JBA、そして日系社会とカリフォルニアが築いてきた深く強い友情とつながりがあれば、この困難は必ず一緒に乗り越えられる」と話した。

続いて、はるばるサクラメントからの出席となったカリフォルニア運輸局 (DMV) のチーフ・デピュティ・ディレクター、ビル・デイビッドソン氏も登壇。今年もこれまで以上に、JBA とのより強固な関係を築いていきたい旨を述べた。

World Trade Center Los Angeles のプ

レジデント、ステイブ・チャン氏も続いてスピーチ。日系企業が南カリフォルニアでいかに雇用を生み出しているか、ロサンゼルスと日本における貿易額がいかに巨額であるかなどを具体的な数字で見せながら、「アメリカは保護貿易主義に傾きつつあるが、諸外国との貿易こそがアメリカの成長に重要なものであり、ロサンゼルスはこれからもその良い例となるべく進んでいかなければならない」と力強く話した。

そして、大川 JBA 会長および来賓一同が前に出て、毎年恒例の鏡開きを行った。続いて、米日カウンシル役員トム・イノ氏が登壇し、「今年はこれまで以上に、アメリカのビジネスにおける日本の貢献を周知していかねばならない」と述べた後、「JBA の強さとビジョン、創造性に乾杯!」と乾杯の音頭を取った。

その後、参加者たちはレセプション会場裏にある日本庭園へ移動。提灯が飾られ屋台が並ぶという、日本のお祭りのような趣向の中、皆思い思いに寿司やお好み焼き、日本酒等を味わいながら会話に花を咲かせた。



笑顔で来賓をもてなす Miss Sake USA 2016のファイナリスト、ニナ藤井さん



上段の左から、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事、大川智 JBA 会長、トランス市長のパトリック・ヒューレイ氏、下段の左から、DMVの Chief Deputy Director ビル・デイビッドソン氏、World Trade Center Los Angelesプレジデントのステイブ・チャン氏、乾杯の音頭を取った米日カウンシル役員トム・イノ氏

二世ウィーク・クイーンおよびコートの皆さんも出席



商工部会

## 「外務省主催在米日系人リーダー（JALD）訪日プログラム」壮行会ディナーを開催

去る2月4日、商工部会は「外務省主催2017年在米日系人リーダー（JALD）訪日プログラム」の壮行会ディナーをJapanese American Cultural and Community Center (JACCC)で開催した。当日は全米から選出された日系人リーダーをはじめ、日本国総領事館やJBAの関係者らが多数出席した。

### 日米関係の強固な関係構築に貢献し 日系アメリカ人の多様性も学ぶ JALD

今年で17回目を迎えるJALDプログラムは、毎年全米各地から選出された日系アメリカ人リーダーが日本を訪れ、政府や財界、学術界の著名人のほか、非営利団体など文化セクターのリーダーらと交流するプログラムである。その運営・実務は米日カウンシルが担当し、今年は11人のJALD参加者が3月3日～11日に東京と金沢を訪問。期間中は「日米友好と相互理解の促進」「在米日系人の役割拡大」「日系人リーダーのネットワーク構築」を目的に日本の要人らと意見交換する。

これに先立ち、2月3日～4日にロサンゼルスでオリエンテーションとJBA商工部会主催の壮行会ディナーが行われた。会の開始前に石川斉商工部会長にJALDへの期待を聞いたところ、「トランプ政権に移行し、日米の相互理解は以前にも増して重要になると思われます。この動きの中で、JALDの皆さんが日本を訪れて日本を正しく理解し、学んだことを持ち帰りアメリカで伝えていただくことは非常に大きな意義があります。我々JBAとしても彼らを支援することで、現政権の動きに影響されない強固な日米関係維持に貢献したいと思っています」と語った。

午後6時、壮行会ディナーが始まった。最初に大川智JBA会長が挨拶に立った。「2000年にこのプログラムが始まって以来、アメリカ社会の中核で活躍する約200名の日系人リーダーが訪日し、良好な日米関係の構築・維持に貢献してくださりました。創立56周年となるJBAには現在約500社が加盟し、カリフォルニアで約8万人の雇用を創出しています。このように日系企業が活躍できるのも、日系アメリカ人の皆さんのサポートがあつてのこと。その感謝の気持ちをお伝えすると共に、皆さんの訪日が実りあるものとなるよう願っています」。

続いてJBAの歴史や活動を紹介するビデオを上映した後、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事が挨拶。「このプログラムは、日系人リーダーの皆さんがご自身の先祖の祖国を知る好機です。現地であくさんの日本人と友好を深めるとは思いますが、ぜひとも日本のおもてなし文化を感じてください。日本は皆さんの「帰国」を心から歓迎しています。Enjoy your home coming!」と語った。

次に、JALDを率いるアイリーン・ヒラノ・イノウエ米日カウンシル会長が登場し、「今年度のJALD参加者は全員日本に行ったことがありますが、これまでの訪問とは違い政治的、経済的、社会的側面から日本を理解できる絶好のチャンスです。また、日系一



ディナー参加者全員で記念撮影

世から五世で構成されている皆さんは、多様性と広がりを持つ日系アメリカ人社会の縮図とも言えます。このプログラムを遂行することで、日本を理解するだけでなく日系アメリカ人社会の多様性も理解できるはずだ」と話した。

訪日する日系人リーダーらの自己紹介が行われた後、最後に米日カウンシルの新ボードメンバー、デニス・スギノさんが登場。壮行会を開いたJBAに感謝を伝え、「皆さんの訪日が有意義なものとなりますよう、カンパイ!」と威勢よく乾杯の音頭を取った。

#### 2017年訪日日系人リーダー（敬称略）

- David Boone (President, CB&I (Chicago Bridge & Iron) Federal Services / Alexandria, VA)
- Jason Fujimoto (President & COO, Hawaii Planning Mill, Ltd. / Honolulu, HI)
- Sawako Gardner (Judge, 10th Circuit Court, Portsmouth District Court State of New Hampshire / Portsmouth, NH)
- Roy Hirabayashi (Co-Founder and past Executive Director, San Jose Taiko / San Jose, CA)
- Leslie Ito (President & CEO, Japanese American Cultural and Community Center / Los Angeles, CA)
- Lynn Nakamoto (Associate Justice, Oregon Supreme Court / Salem, OR)
- Patrick Oishi (Judge, King County Superior Court / Seattle, WA)
- Ken Russell (Commissioner, District 2, City of Miami / Miami, FL)
- Michael Takada (Chief Executive Officer, Japanese American Service Committee / Chicago, IL)
- Wendy Takahisa (Executive Director, Office of Community Relations, Morgan Stanley / New York, NY)
- Gary Yamashita (Chief Executive Officer, Sakura Square / Denver, CO)

### 2017年訪日日系人リーダーの声

#### マイケル・タカダさん

「私は以前、日系銀行のシカゴ支店に勤めていましたが、現在は日系アメリカ人社会で活動するNPO団体で働いています。私が日本と強いつながりを持っていた銀行時代からかなり時間が経っていることもあり、今の日米関係や日本人と日系アメリカ人の関係は昔と異なっています。しかし両者の関係の重要性は依然変わっていません。このプログラムを通じて、どのように日米関係の変化に対応し強固な関係を維持すべきかを考えたいと思います」



#### サワコ・ガードナーさん

「私はニューハンプシャー州の小さな町に住んでいるため日系アメリカ人と会う機会はあまりありません。ですから私にとってこのプログラムは、私と同じ日系アメリカ人と密な関係を構築し体験を共有できる貴重なチャンスだと考えています。同時に、人間同士の「友好」を体験できる有意義な場でもあります。今回の体験から、日米関係の深化と発展のために今後自分に何ができるのかを学びたいと考えています」



#### レスリー・イトウさん

「私たち日系アメリカ人は、日米の懸け橋になることや日米関係を強固にすることを大きな責務とし、日米関係を構築する上で特異なポジションに立てる特別な存在だと思っています。私は日系四世で日本語が話せませんが日系人特有の感覚は持ち合わせており、日米関係強化の重要性や利点がとてもよく分かります。そうした独特の感覚を通してプログラムを遂行し、これからも日米関係の発展に貢献したいと思えます」



JBA特別経済セミナー

# 「米国経済の現状と トランプ政権下での経済展望」

去る2月23日、トーランスのミヤコハイブリッドホテルで、特別経済セミナーを開催した。講師の三菱東京UFJ銀行経済調査室ニューヨーク駐在チーフ米国エコノミストの栗原浩史さんが、新政権となり大きな注目を集める米国経済の現状と課題、展望を分かりやすく解説した。



【講師】

栗原浩史さん

三菱東京UFJ銀行経済調査室ニューヨーク駐在チーフ米国エコノミスト。1999年、三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)に入行。資金部、三菱UFJ投信出向等を経て、2011年から経済調査室(東京)にて米国と中国のマクロ経済分析を担当。14年11月より現職。

## 米国経済の現状と 経済政策の行方

新政権下での経済の動きは日系企業にとっても大きな関心事であり、本セミナーには110名超の参加者が集まった。講師の栗原さんは、新政権下での経済政策および展望を語る前に、まずは米国の景気の現状を解説。米国の2016年10～12月のGDP成長率は前期比年率+1.9%で、16年後半は平均2%超を記録している。「現在の米国経済はGDP成長率2%程度が順行速度と言われています。15年後半から3四半期連続で2%を下回っていましたが、昨年後半は景気がかなり良くなっています」。大統領選以降、株式市場も上昇しているが、これは米国の景気が足元で良くなってきているタイミングだったことも背景にある。

加えて「米国の足元の景気を見る上で最も重要な経済指標だと思います」として、企業にアンケートを取って月次で発表されているISM指数も紹介した。これには製造業と非製造業の指数があるが、どちらも17年は回復感が鮮明である。

続いて、話題は新政権下での経済政策

に移った。ドナルド・トランプ大統領の主張する経済政策をまとめたスライドを映しながら「共和党の主張と同様の、減税や規制緩和、オバマケアの廃止に加え、民主党が主張しているようなインフラ投資の拡大や教育・子育て支援の拡大をも主張しています。また、以前はどちらの党も主張していなかった厳格な移民政策や保護主義的な貿易政策も主張しています。選挙の勝因には、8年間の民主党政権の後で変化を求めた世論に加えて、こうした経済政策の組み合わせもあるのでは」と栗原さん。

就任1カ月目までにトランプ政権が実施してきた事柄について、大統領が指名し上院の承認によって就任する主要高官のリストや大統領令・覚書の一覧のスライドを映しながら解説。「大統領令・覚書は影響の大きかったものから意思表示に過ぎないものまで内容はまちまちですが、ひと言で言う『有言実行』。選挙前に言っていたことを忠実に実行しようとしています」。トランプ大統領は、自分の仕事を「米国有権者との契約」として、文字にして発表しており、その中には「就任1日目の施策」と「就任後100日間に提出し可決を目指す10の法案」

がある。前者は6～7割が大統領令・覚書として実施済みだ。

大統領令についての報道が増えるに従い、栗原さんは最近「大統領令とは何ができるものなのか?」という質問をよく受けるという。「大統領令のできる範囲は非常に曖昧で、最終的には最高裁の判断に委ねられるような事象も多くあります。ただトランプ大統領は『就任1日目の施策』として挙げたことを大統領令のできることで、『就任後100日間に提出し可決を目指す10の法案』を自分一人ではできず議会と協力してやっていく必要があると思っているのでしょう」。

## 政策の見通しと 経済へのインパクト

続いて、栗原さんは個々の政策についての見通しと経済への影響を解説した。気になる移民政策については、不法移民対策を強化していく一方で、合法的移民については抑制的な政策にまでは踏み込まないのでは、とし「経済にとっては労働力の若干のタイトさを感じるかもしれないが、マイナスの圧力になるほどではない」と見通しを述べた。

トランプ政権の移民政策と並ぶ目玉は買

**極上の和食、いせしま。**

**いせしま**  
Ise-shima  
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階  
(310) 320-6700  
www.ise-shima.us

**トーランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。**

**MIYAKO HYBRID HOTEL**  
都ハイブリッドホテル トーランス・カリフォルニア  
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501  
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112  
www.miyakohybridhotel.com

**MIYAKO HOTEL LOS ANGELES**  
都ホテル ロサンゼルス  
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012  
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700  
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。



易政策である。栗原さんは、今後、貿易赤字を削減するような政策が実施され、実際に貿易赤字が削減されると予測する。その際に変化が予想されるものの一つには、中国との貿易がある。近年、中国強硬派以外の主流派の経済学者にも「中国との貿易は再考する余地がある」と考える人が増えており、「中国の世界貿易機関（WTO）加盟以後、米国内で最大200～240万人の雇用が失われた可能性がある」という意見もある。そうした失われた雇用は輸出セクターにシフトされるはずだったが、米国の労働市場はそれほど柔軟ではなかったのである。「雇用喪失には労働のオートメーション化という要因もありますが、政策議論の土台となる米国の分析は、中国の貿易がマイナスの影響を及ぼしたという見方に変化しつつあります」。共和党の貿易に対するスタンスも内向きに変化しており、トランプ大統領の主張と一致するところもある。

栗原さんは今後の政策としては、法人税改革に盛り込まれている国境での調整課税を一部実現し、その上で中国などに対して二国間での公平な取引を求めていくのではないかと見ている。そして、「貿易政策と税制改革は非常に密接につながっています」と話を続けた。トランプ政権は、非常に複雑になっている税制を簡素化し税率も引き下げるとする税制の大幅な改正を主張しているが、現在は法人税についてトランプ大統領が当選前に主張していた改革案と下院共和党案が議論されている最中である。引き下げ後の税率に違いはあるものの、どちらも大幅引き下げを主張している。「下院共和党は赤字を拡大させない形で法人税を引き下げたいと考えており、ほかで増収を増やす措置が必要となります。その時に、対外貿易も改善したいという思惑とも合った政策が、国境での調整課税になるのです」。こ

のほか、法人税改革に関しては、投資費用の取り扱いや海外子会社利益への課税についても改革が議論されている。

さらに栗原さんは、トランプ政権が主張するインフラ投資の拡大や規制緩和などについても説明。これらの政策を踏まえると、やはり結論としては有言実行ということになり、経済の成長率にはプラスに働くと思えますが、来年は0.5%くらい成長率を押し上げるのではないのでしょうか。

### 米国経済の問題点とリスク

こうした経済政策は、経済成長率への影響よりも米国経済が抱える問題への対処となるのかどうかより注目点だという。「うまくいけば2年後の中間選挙、4年後の大統領選でも共和党またはトランプ大統領と同じ主張をする人が当選するでしょうし、うまくいかなければ米国はより切羽詰まって危機的な状況になることもあると思います」。

米国経済が抱える問題点として、栗原さんは3つを挙げた。一つ目は「拡大してきた所得格差」であり、1930年代の大恐慌と並ぶ格差水準という大問題となっている。二つ目は「基礎的支出の価格高騰」で、これにより低所得層や中間層が生活の困窮に直面している。改善のための政策は多くは打ち出されていないが、経済環境が良くなれば改善を期待できる可能性がある。

三つ目の問題は「働き盛りの男性の中長期的な労働参加率の低下」。労働参加率とは、働く意欲のある人が人口の中に占める比率で、米国ではプライムエイジと言われる25～54歳の男性の労働参加率が1953年の97.5%をピークに、2015年には88.3%まで低下している。「いろいろな要因がありますが最も大きな影響を与えた

のは、技術進歩・グローバル化による低スキル・中スキルの労働需要の減少でしょう」。足元では失業率は低く労働環境が悪くないにもかかわらず、中西部を中心にあれだけ現状に不満を持つ層がいたのは、こうした労働市場から出ていってしまった人が中長期的に存在したことがあり、それが今回の選挙の結果につながったのではないかと分析した。この先の見通しとしては、2010年頃から製造業の雇用が回復する土壌もできつつあり、またトランプ政権は製造業を国内に戻すと言っていることから、税制改正などの政策が加われば製造業の雇用が増え、労働参加率も回復する可能性がある。

新政権下での米国経済のリスクについては、ダウンサイドはすでに巷で多様な議論がなされているが、栗原さんはアップサイドを指摘。米国の景気は、まず所得期待が高まり→それによって消費が増え→企業収益が増え→実際の所得が増え→消費が増えるという循環で作られているという。家計の所得への期待は、世界金融危機以降、低迷していたが14年後半に上昇。今は横ばいだがトランプ政権が誕生したことで米国の家計の期待に変化を与えられれば、成長率が高まる可能性もあると考えているようだ。

最後に利上げと為替についても言及した。利上げについては連邦準備理事会の今後の人事に触れつつ、年内は6月、12月に2回、2018年は3回程度の利上げと予測。為替については、「トランプ大統領の主張する政策はドル高要因が多いと言われますが、最も推進したい政策であるはずの貿易赤字削減は、ドル高が進むような状況では改善されません。仮にドル高が進むような状況になれば、口先介入または他国と協調して水準を調整する状況もあるかもしれません」として、ドル円は110～115円くらいで推移するのではないかと予測した。



## オフィスの移転・改装は「オフィス設計」



Office Sekkei America, Inc.  
 ☎ (310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com  
 www.officesekkei.com/english



- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント

# インタ 私のLA

ロサンゼルスで活  
企業の皆さんの、企  
姿と、オフの素顔を



永野・森田米国公認会計事務所  
パートナー／米国公認会計士

ながの ちから  
永野 力 さん

## 日米両方の背景を活かし 日系社会の発展に貢献

1968年生まれ。3歳の時に家族で渡米しロサンゼルスで育つ。アルハンブラ高校、あさひ学園高等部を卒業後、慶應義塾大学に進学。大学卒業後、92年に日本経済団体連合会事務局入局。2000年に米国に戻り、02年より永野・森田米国公認会計士事務所に勤務。

### 実務を通して 真のバイリンガルに

3歳の時に渡米しロサンゼルスで育ちました。現地校に通いながら高校卒業まであさひ学園にも通学。大学はアメリカで行く選択肢もありましたが「このままではルーツがなくなってしまう」と心配した親のアドバイスで日本に戻り、慶應義塾大学に進みました。行ってみたら都会の生活が刺激的で、また友人にも恵まれ面白かったですね。大学のサークルを通して妻とも出会いました。

大学卒業後は経団連事務局に入局。大学時代に、細川護熙さんが日本新党を作るなどして政治ブームがあり、私も特殊な育ちではあるけれど日本人の一人として、政治家になって社会に貢献したいと夢を持ったので入局でした。経団連では事務方として官僚と政治家と財界の間の政策調整の仕事を担いました。バイリンガルとして重宝されいろいろな仕事をさせてもらいましたが、最初は日本語で書くのが苦手現場で随分



趣味は応援歌リード。毎年LA三田会(慶應義塾大学のOB会)では、大声でエールを送る。

日本語の文章力を鍛えてもらいました。

7～8年ほど勤め、30歳を目前にした頃、東京で

のハイペースな生活で疲れがたまってきたのか、ロサンゼルスの暖かい日差しの下でののびのびした生活が恋しく思われてきたのです。また数多くの政治家に会ううちに、純粋に社会のために働く人もいる一方で、利己的な欲にかられる政治家も多い現実を知り、政治家になる夢も失いかけていました。そんな頃、父が会計事務所を設立したこともあって、会計税務の世界に興味を持ち始めたのです。

### 会計税務の仕事は 日米の両方を生きる自分の天職

そして2000年にロサンゼルスに戻って、会計税務の実務を積んで地盤を固めた後、02年から永野・森田会計士事務所働き始めました。最初は父と同じダウンタウンLAの事務所に勤務し、2年目にサウスベイに新たに事務所を立ち上げました。実はこの世界に入る前は、会計税務の世界は真面目一徹な人が集まって仕事をしているイメージを持っていたので、人と関わったり話したりするのが好きな私にやっつけられるか心配していたんです(笑)。でも会計税務の仕事は数字と人をつなぐサービス業で、人と話すことも大切な仕事なんですよ。

私たちの事務所のお客様の多くは、アメリカに進出されている日系企業です。日本から外の市場にチャレンジされる日本の企業

を会計税務を通してサポートをできること、またその仕事を通して日系社会に貢献できることにやりがいを感じています。日本とアメリカの両方のバックグラウンドを持つ自分に与えられた天職だと思っているのです。

もちろんアメリカと日本の両方のアイデンティティーを持っていることに悩んだ時期もありましたが、悩むのは健全なことですよ。私の子どもたちも現地校とあさひ学園に通い、上の子は今、慶應義塾大学で学んでいます。彼らも苦労しているかもしれませんが、どちらのアイデンティティーも否定する必要はない。両方持っていて大丈夫だし、その両方を持っていることはとても良いことだと思っています。現地校に加えてあさひ学園に通うのは大変ですが、あさひ学園は日米の将来を支える子どもたちを育てる大切な場ですね。

これからも日系社会を支え、またお客様、属している教会など、身近な人たちやコミュニティの役に立っていききたい。それに今は仕事の忙しさにかまけていますけれど、大学時代からずっと支えてくれている妻との時間をもっと持ちたいと思っています!

#### COMPANY INFO

永野・森田米国公認会計士事務所©1984年にロサンゼルスで設立。以後、米国に進出および米国で事業拡大をする日系企業に対して、日米会計、経理、簿記、監査、税務、コンサルティングなどのサービスを提供している。



# ビュー ライフ

躍するJBA会員  
業人としてのお伝えします。

# KOBELCO

Kobelco Compressors America, Inc.  
General Manager of Administration

ふかみ まなぶ  
深見学 さん



## 自発的にモチベーションを高め 変化を楽しめる環境作りを

1967年和歌山県生まれ。名古屋工業大学機械工学専攻卒業後、91年、神戸製鋼所入社。電子・情報事業部のFA・ロボット事業に機械設計担当として配属。同事業部の資材調達部門を経て、2000年、機械事業部の資材部門へ異動。16年、米国に赴任し現職。

### 固定概念を超えた 新たな挑戦は仕事の醍醐味

1991年に神戸製鋼所に入社し、その頃事業部となったばかりのFA・ロボット事業に配属となりました。最初の3年はロボットを使った自動溶接システムの機械設計を担当。人間のように自在に姿勢を変え道具を持ち替えられないので、溶接箇所干渉なくロボットの腕先が届くよう、ワーク位置決め装置の機構設計に工夫がいります。当時担当した建機のフレーム溶接システムでは、サイズの違う複数ワークに対応できるシンプルな機構を思い付いたのは良かったのですが、お客様のご要求以上に完全自動化してしまって(笑)。営業には「誰がそこまでやれ言うてん」と突っ込まれました。結果的にその自動化も評価され、追加で費用をお客様からいただくことができました。

そんなふうに固定概念ではできないことに挑戦して結果を出すのは、やはり仕事の醍醐味の一つ。機械加工の母性原理が言うように、コピーは必ず劣化する、同じことを繰り返せばダメになってしまうのです。無論、新しい



運転に必要な補助装置と共にパッケージ化された同社の圧縮機。顧客に合わせたテラメイド品だ。

ことに次々取り組めたのは、失敗を怖れない環境に恵まれたことも大きかったと思います。

### 幸せは環境ではなく 立ち位置が決める

2000年、会社としての取捨選択の中で、FA・ロボット事業は解散し、私は機械事業部の資材部門に異動しました。それまで海外とほぼ無縁でしたが、海外調達の業務に携わるようになり世界各国に出張をするように。出張先で出会う多様な文化にすごく影響を受けましたが、最も衝撃が大きかったのはベトナムとインドです。週末の夜のベトナムでは何組もの若いカップルが大通り沿いの緑地帯にバイクを停めて、運転席と荷台に横に並んで座り、目を見つめ合っているのを見たのです。日本だと恋人といってもスマホを見てばかり。あんなふうに互いの目を見て話しているだけでその時間が楽しくてしょうがないなんて感覚は、自分も持っていたはずなのにどこにいったんだろう…。またインドで出会った登校中の女子高校生の数人は真っ新しい制服を着て満面の笑みなのに、足元は裸足だったのです。日本の感覚なら裸足で歩くなんて幸せだとは思えないでしょう?その時に「幸せ」って環境じゃない、その環境を楽しめるとか幸せだと感じられる立ち位置の問題だと思ったのです。

よく仕事にはモチベーションが大事だと

言いますが、幸せと同じようにモチベーションも環境じゃなく内から湧き上がるものですよ。今ここで作りたと思っているのは、そういうモチベーションが自然に生まれる職場環境です。私は16年に渡米し駐在員としてKobelco Compressors America, Inc.のアドミニストレーションの統括をしています。当社は今、特に何の不自由もなく日頃の企業活動を行っていますが、同じことをしては企業活動の質は自然と劣化します。そうではなく常に変わろうという気持ちを芽生えさせる必要がある。しかもその会社の変化が駐在員の指示による受動的なものなら、その駐在員がいなくなったらその変化は途絶えてしまいます。現地の社員が自発的にモチベーションを上げ、変化していく環境を作っていきたいと思っています。

仕事にしてもデートにしても、同じことの繰り返しでは面白くないですよ(笑)。変化や発見は面白いしワクワクします。夫婦揃って食べるのが好きなので週末は新しいカフェを見つけては試していますが、長い休みには、この広いアメリカのまだ見たことのない世界を見に行きたいですね。

#### COMPANY INFO

Kobelco Compressors America, Inc. ©神戸製鋼所の子会社として、米国で同社の圧縮機を販売。コロナ本社事務所・工場、圧縮機とその圧縮機の運転に必要な補助装置を顧客に合わせてパッケージ化するための設計・製造を行っている。

企画マーケティング部会

# 久しぶりにOCでのミキサー開催 新たな顔ぶれも多数参加

去る2月16日、タスティンにあるJT Schmid's Restaurant & Breweryで異業種交流会(ミキサー)を開催した。サウスベイやダウンタウンLA方面からも多くの参加者が集まり、OCを拠点とする企業関係者らと交流を深めていた。(皆さんのお名前は左から)



Kula Sushi USA, Inc.のコジマさんとエダさん。「これまで知り合った方とは違う方たちと交流できて良かったです」(コジマさん)。「今年初めてのJBAイベントへの参加で、新年のご挨拶のつもりでやってきました」(エダさん)。



Hitachi Chemical Co. America, Ltd.のオガワさんとMazda North America Operationsの山根さん。「こちらに来てまだ数カ月。これを機に多くの方と交流したいです」(オガワさん)。「ミキサー初参加ですので、たくさんの方との関係構築のために参加しました」(山根さん)。



Pacific Guardian Lifeの立石さんとseeknet USAのイナガキさん。「OCにはあまり来る機会がないのですが、今回はミキサーのためにやって来ました」(立石さん)。「アメリカならではの日系企業の集まりですので、たくさんの方からお話を聞き勉強したいと思います」(イナガキさん)。



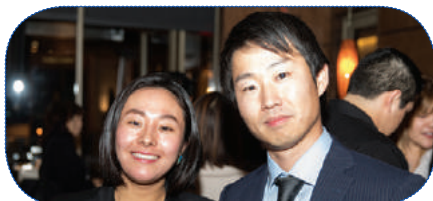
Relo Redac, Inc.の内山さんとKDF U.S., Inc.のコマザワさん。「弊社はサウスベイにありますが、OCでも人脈を作るために参加しました」(内山さん)。「新入会員ですので皆様にご挨拶させていただき、交流を深めたいと思います」(コマザワさん)。



Creek & River GobaのキムラさんとSoftBank Telecom Americaの張さん。「普段はあまり知り合うことのできない方々とお会いしたくて参加しました」(キムラさん)。「ミキサーには毎回参加していますが、いつも素敵な出会いと発見がありとても有意義です」(張さん)。



Seven Corners Insurance Solution Inc.の堀家さんとFujitsu America, Inc.の田中さん。「最近OCに来ることが増え、ちょうどいい機会ですからこちらのミキサーにも参加しました」(堀家さん)。「ミキサー初参加ですが、こうした交流会に参加できる機会が少ないのでとても有意義です」(田中さん)。



DCM Creations, Inc.の齋藤さんとseeknet USAの青戸さん。「弊社を知っていただくこと、新人社会人の私の顔を覚えていただくために参加しました」(齋藤さん)。「日系コミュニティーでの人脈作りと、アメリカ生活でビジネスを越えた知り合いを求めて来ました」(青戸さん)。



Royal 4 Systemsの成川さんとPasona N A, Inc.の久保田さん。「今年JBAに加入し、ミキサーも初参加。皆さんと交流を深めビジネスを広げたいと思います」(成川さん)。「既存のお客様へのご挨拶と新規のお客様とのネットワークを広げるために参加しました」(久保田さん)。



Pacific Guardian Lifeの今井さんとS・Planner USA Inc.の笹田さん。「料理がおいしく雰囲気もよく、普段会えない方がたくさん来られているので参加して良かったです」(今井さん)。「参加者が多く賑やかでいいですね。皆さんからビジネスのお話をお聞きして弊社のビジネスも広げたいです」(笹田さん)。

ロサンゼルスからの航空券つき

## アメリカ皆既日食観測と 世界遺産イエローストーン 5日間

残席わずか! お早めに

**8月18日出発限定**

ツアーコード: 4394

ロサンゼルスからのバスツアー

## 滝が美しい 春のヨセミテ国立公園 メモリアルホリデー 3日間

**5月27日出発限定**

連休中は渋滞で駐車場探しも大変!  
便利なバスツアーで出かけましょう。

ツアーコード: 4672

**LOOK American Tours (800)566-5582** [www.looktour.net](http://www.looktour.net)

月~金 6:00~16:00, 土 8:00~16:00 PT Email: look@jtbusa.com 24時間予約受付中!! looktour 検索



## 新入会企業紹介

## Marss America, Inc.

## 業務内容

1998年設立のMarss America, Inc. は、日系企業の米国進出の支援を主要事業とし、特に日系食品・飲料メーカーの小売店への導入に実績がある。米国の商習慣上、取引のないメーカーが直接小売店と契約を結ぶことは難しいが、同社はまず日系問屋への導入活動を行い、商品への反応から米国市場における可能性を分析。問屋からの推薦を得て米国市場につなげるなど、独自のノウハウと戦略を持っている。

そのほか、日系飲食店の出店支援では、適切な立地の提案や飲食店専門の建設業者との交渉、食品納入問屋の紹介、各種許可証の取得、従業員の募集など、飲食店の出店にとって必要なサポートを総合的に行っている。



二宮さん

## JBA入会動機

「今までは限られた業種の方々のお付き合いが比較的多かったのですが、見聞を広げるべく、さまざまな業界の方との交流ができればと思っています」(Managerの二宮さん)

## DATA

住所：2421 W. 205th St. #D205C  
Torrance, CA 90501  
☎ 310-533-1800  
FAX：310-533-8001  
Web：www.marss.co.jp  
責任者：二宮孝尚 (Manager)  
従業員数：2人

## NGK-Locke, Inc.

## 業務内容

NGK-Locke, Inc. は、1965年にNGK Insulators, Ltd., Japan. (日本ガイシ)の米国における営業拠点として設立された。親会社である日本ガイシは、電力用がいしの生産で世界的に高いシェアを誇る。ちなみに、電力用がいしとは、電線を支えるとともに、鉄塔と電線を絶縁するセラミック技術を駆使した製品である。

米国拠点では、日本、中国、米国の関連企業で製造した磁器がいし、ポリマー製がいしの販売を手掛けている。



菅原さん

## JBA入会動機

「JBAの活動を通じて、他業種の方々と交流を図れればと思入会させていただきました」(Western Regional Managerの菅原さん)

## DATA

住所：21250 Hawthorne Blvd. Suite 500  
Torrance, CA 90503  
☎ 310-316-3323  
Web：www.ngk-locke.com  
責任者：菅原真吾 (Western Regional Manager)  
従業員数：1人  
他の営業拠点：ボルチモア、アトランタ

## Royal 4 Systems, Inc.

## 業務内容

Royal 4 Systems, Inc. は、1984年にロングビーチに設立された。主な業務は、物流倉庫や生産管理現場向けのWMS・ERPソフトウェアの開発および導入である。WMS・ERPに精通したプロのエンジニアによる、企業システムの改善提案を得意としている。新規のシステム導入に加えて、顧客がすでに利用しているソフトウェアとの柔軟な紐付けができる点と、リーズナブルな導入コストと稼働までの導入スピードで評価を得ている。

現在、日本の(株)タカハタ電子とパートナーシップを結び、物流・生産支援用のハードウェア「Pick-to-Light」や「ハンディーターミナル」も提供している。在米日系企業への導入実績もあり、2017年1月にはタカハタ電子から出向者を迎え、さらなる販売拡大を目指す。



成川さん

## JBA入会動機

「Royal 4 Systems, Inc. は、北米の日系企業とのネットワークを構築し、弊社の製品とサービスを広くご提案したいと考えております。また、諸先輩方から公私ともにご指導、ご鞭撻をいただきたいと思っています。よろしくお願いたします」(Managerの成川さん)

## DATA

住所：5000 E. Spring St. Suite 415  
Long Beach, CA 90815  
☎ 562-420-9594  
FAX：562-420-7818  
Web：www.royal4.com  
責任者：成川慎一 (Manager)  
従業員数：50人  
他の営業拠点：北米20カ所、メキシコ、オーストラリア



## FDA・各種規制対応

- FDAコンサルティング(食品、化粧品、薬品、医療機器、福祉機器、放射線、動物)
- EPA, UL, CE, VOA, AAFCO他各種登録

## 米国進出事業企画

市場調査、販売ネットワーク構築、日米間M&A、合弁事業、米国撤退業務引継ぎ、事務所貸出



ロサンゼルス・サンフランシスコ・東京・大阪

Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは堀井みどり迄。

1411 W. 190th St., Toyota Plaza #200, Gardena, CA 90248, U.S.A.  
(株) グロービッツ www.globizz.net

## オレンジカウンティ地域部会

### 「OC部会主催 クッキングクラスに参加して」

文: Hayakawa USA Corporation・伊藤 良さん

OC 部会クッキングクラス幹事の皆様、この度は大変有意義な企画ありがとうございました。またお疲れ様でした。とにかくおいしかったです。

今回クッキングクラスをご紹介いただき、改めて自分でも驚いたことがございました。一つは、結婚して約 18 年近くになりますが、自分のエプロンがないこと(すいません)。もう一つは夫婦一緒にこのような行事に参加したことがないこと。共に世間の皆様からお叱りを受けるようなことで、猛省しています。

そもそも昨年 8 月にアーバインに子会社を設立することになり、夫婦でこちらに住むことになりました。非常に気候も良く、生活もしやすく、大変この地が気に入っています。日本時代も夫婦でよくスーパーへ買い物に行き、食材を選ぶことは

大好きでして、こちらに来てからもいろいろなスーパーへ行くことは楽しみでした。また食生活に関してアーバインでは、外食に関しても和・洋・中など各国料理が堪能でき、何不自由ないと思っています。日本でもニュースになっていましたが、こちらに来て我が家もエンゲル係数がさらに高くなった気がしています。

今回のクッキングクラスのテーマでした、「アメリカ料理」ですが、品目案内を見たときサーモンケーキ?クスクス?など私には聞きなれない用語もありましたので、果たして無事調理できるものかと思いましたが、Jessica シェフの親切な説明、JBA ボランティアの川崎さんの通訳、周りの方々の協力もあり大変楽しく調理ができました。調理道具も私には分からないものがありました



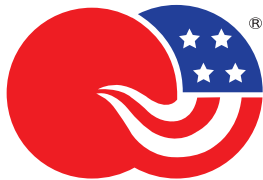
が、家内に使用方法を聞きながら楽しむことができました。

食材と下準備は Jessica シェフがほとんどしてくださったのですが、できた料理はなぜか自分たちが調理したようにおいしく感じました。小学生の頃のカレー作りを思い出します。異国の地で皆さんと色々な話をしながら料理し、食事するのは大変良い機会でした。

今回参加させていただき、妻への感謝と周りの方々への感謝の気持ちを忘れずにアメリカ生活を満喫していきたいと思えます。ぜひ次回も参加させてください。



## 北川 & イベート法律事務所



**KITAGAWA & EBERT, P.C.**  
**(949)788-9980 日本語でどうぞ。**  
**www.JAPANUSLAW.COM**

With Lawyers Licensed in Multiple States Including  
**CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC**  
 北川・イベート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT” (法的能力・道徳性) 評価

WALL STREET JOURNAL. Chicago Tribune Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介  
**必勝戦略・難題解決のプロ・良心的**

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

**北川 リサ 美智子 弁護士** 京都大学法学修士 東京大学法学研修  
 CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA 連邦最高裁判所認可弁護士  
 (MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998  
 (TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024

## 人間、ペット、環境に安全な方法で、家屋、ご家族のご健康をお守りします!!

<米国ペストコントロール協会38年継続会員>  
 <JBA27年継続会員>

◆ JBA 会員特別ディスカウント!! ◆  
 ◆ 調査・見積もり無料!! ◆



**CATS USA PEST CONTROL, INC.** **1-800-464-2287** (日本語無料相談窓口)  
 1-818-506-1000 E-mail: ftanaka@catspestcontrol.com (日本語/英語) WWW.CATSPESTCONTROL.COM  
 LOS ANGELES • ORANGE • SAN BERNARDINO • RIVERSIDE • VENTURA

- 一般家庭・アパート・オフィスビル・レストラン・食品工場・大型倉庫・ショッピングセンター  
 全ての建物に対応した、ペスト&ターマイトコントロール及び定期管理プログラム!!
- 屋根裏断熱材の掃除・交換—安全なナチュラル素材で光熱費ダウン!
- 各市保健局、USDA、AIB、FDA、EPA、オーガニック、定期監査対応!
- 50名の技術者・調査員は全て、加州ライセンスを所持した、専門家!
- 1972年設立、加州で数少ない、日本人経営の品質保証サービス!

創立  
**40周年記念**  
 特別割引  
 継続中!!



## あさひ学園だより

4月より新管理体制にてスタート

あさひ学園事務局

1969年設立以来、本校は、ロサンゼルスに暮らす子どもたちが、日本の学校と同じ教育を受けられる機会を築き上げてきました。また、実りある学校づくりのために、時代の流れと共に変化を遂げてきました。創立50周年もあと2年と近づいており、より円滑な学校運営を可能にするため、今年度から新たな管理体制でスタートします。

サンタモニカ校とトーランス校をベイ

エリア校区、サンゲール校とオレンジ校をインランド校区と定め、この2つの校区をそれぞれ統括する役割にあたるのが副校長となります。日本政府から派遣された校長、基幹教諭の協力のもと、4校の歩調を合わせ、さらなる前進を目指します。各校には主幹、教務主任も配置し、的確な生徒対応並びに教員サポートの充実も目的としています。本校ウェブサイト(www.asahigakuen.com)で、

新たな学園運営管理組織図を紹介していますのでご覧ください。

※3月号でお知らせしたオンライン宿題ですが、諸事情により2017年度導入は見送ることとなりました。



ベイエリア地区  
田崎真呂美 副校長



インランド地区  
井筒謙一 副校長

### 新入会員

Ones Network Inc.

NTL NAIGAI TRANS LINE (USA) INC.

Advantage Resourcing (Recruit Holdings)

M. Okamoto & Associates, Inc.

TOK America, Inc.

5250 W. Century Blvd. #106, Los Angeles, CA 90045

970 W. 190th St. Suite 580, Torrance, CA 90502

1820 E. 1st St. Suite 104, Santa Ana, CA 92705

919 S. Fremont Ave. Suite 338, Alhambra, CA 91803

15707 Rockfield Blvd. Suite 240, Irvine, CA 92618

☎ 310-634-7112

☎ 310-532-7223

☎ 714-850-1233

☎ 626-943-8800

☎ 949-281-6330

## 翻訳通訳のプロフェッショナル 40年の信頼と実績



お問い合わせ

TEL : 310-316-6900

info@honyaku-usa.com

www.honyaku-usa.com

### 自動車リースは

アメリカでクレジットが無いと出来ないと考えていませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でも OK!
- 全米どこでも OK! どんな田舎でも、都会でも OK!
- どんな車種でも OK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でも OK!
- リース期間は1年から OK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 納車は注文からわずか1週間ほどで可能です。
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。



いえ、出来るんです  
どなたでも、全米どの町でも OK!

お気軽に電話または  
e-mail でお問い合わせください。

電話 : 213-621-7775

担当は、大橋 : ohashim@pacbell.net

又はゆきまさ : yukimasa@pacbell.net

**朗報** カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リース  
もありますので、在庫車種をお問い合わせください。

\*各種情報はウェブサイトでも、ご覧になれます。

**www.LaJapaneseAuto.net**

親切で安心して任せられる 36年の実績信頼 小東京で1980年創業

**LOS ANGELES JAPANESE AUTO**

810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 · Tel:(213) 621-7775 · Fax:(213) 687-0909

サウスベイ地域部会

第18回トーランス商工会議所 (TACC) /JBAビジネスエクステンション開催

文:Ajinomoto Logistics Corporation・村澤 護さん

サウスベイ部会では2月9日に、トーランス商工会議所 (TACC) と JBA 会員企業のビジネスワーキングを目的とした合同ビジネスイベント「TACC/JBA ビジネスエクステンション」を開催しました。

18 回目を迎えた今回は、JBA と TACC 合わせて 120 名を超える参加者が集まり、各参加企業によるブースを JBA 側 6 社、TACC 側 7 社が設置し、企業・商品説明が行われ JBA 会員企業と地元企業の交流を深めることができました。

VIP スピーカーをお招きし、千葉明在 ロサンゼルス日本国総領事、Patrick J. Furey トーランス市長よりご挨拶を頂きました。JBA からは大川会長の挨拶とビデオを交え JBA の活動と地元への役割の説明し、TACC からは Jonathan Beutler チェアマンよりご挨拶を頂きました。

また交流がより一層深まるように、ネットワーキングシート「ビジネスビンゴ」を実施。該当者を探しサインをもらい、全ての項目にサインがもらえると抽選へ応募

できるというもので、楽しみながら話しかけるきっかけが作れ、それによりビジネスチャンスを広げていける催しとなりました。加えて、バンドの生演奏が行われるなど、華やかな交流の場所となりました。

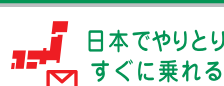


新任の車の手配は面倒だと聞いた。間違いだった。

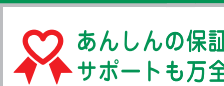
社用車からご家族のお車までガリバーにご相談下さい。日本企業ならではの細やかさでお応えします。



新規赴任者向けのプログラムを大手保険会社と連携実現。



事前にメールでやりとりして渡米してすぐに車に乗れます。



プレミアム 1 年保証で購入後に発生した修理代金を保証。



売却もガリバーへ

買取累計 13,000 台



アメリカでも、中古車選びはガリバーへ



お問合せ Torrance / Los Angeles / Orange Country

1-800-783-0271

法人窓口：大塚・佐藤まで

24H オンライン受付

🔍 ガリバーUSA

検索

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム  
米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (Union Bank®\*1・ジャパニーズ・カスタマーサービスユニット)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669** (フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

\*1 法人名の邦訳：ユニオンバンク

©2017 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at [unionbank.com/japanese](http://unionbank.com/japanese).